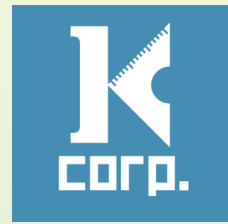


CASE STUDY 6

建物メンテナンス業

株式会社K・コーポレーション



所在地 福岡市西区姪浜駅南1-4-1-202



公式サイト

テーマ

スマホ×Googleフォームで実現するデジタル化への第一歩
月1,000枚のFAXと二重入力から脱却し、現場と事務を一本化

支援前の課題

アナログ業務の限界

手書きとFAXに依存した業務体制で月約1,000枚のFAX処理が発生。コスト増大と非効率性が常態化。

現場のデジタル抵抗

現場スタッフの「手書き文化」への固執が強く、デジタルツール導入への心理的ハードルが高かった。

事務側の二重手間

現場からのFAXを事務側が再入力するダブルワークが常態化し、担当者の負担が大きかった。

支援内容・プロセス

01

現状把握と脱FAXの方針決定

アナログ業務フローを可視化。スマホ完結の報告体制で現場と事務の二重手間解消を目標設定。

02

フォームの要件定義

現場での使いやすさを最優先に、Googleフォームによる物件ごとの作業報告項目の設計を支援。

03

請求書自動作成システム構築

フォームデータをもとに、Apps Scriptで請求書を自動出力するシステムを試作・実装。

04

現場向け操作レクチャー

物件データ管理方法を協議。フォーム連携の不具合修正と、実際の入力から反映までの動作テストに成功。

05

運用確認と機能最終調整

運用開始後のフィードバックを反映。選択肢の自動更新機能など、自走に向けたシステム調整を完遂。

支援後の成果と今後の展望

FAX枚数

大幅減

転記ミス

削減

事務工数

効率化

スマホ活用により現場からの即時入力が可能になり、**転記ミスの削減と事務作業の大幅効率化を実現**。今後は作成したツールを足がかりに、山積する課題を一步ずつ改善していく。